

日本地衣学会 ニュースレター

No.114

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	活動報告	421
	第36回青空地衣教室（千葉県日本寺）の報告／木下靖浩，安斉唯夫	421
	第36回青空地衣教室 - 鋸山日本寺 - に参加して／石原 峻	422
	第36回青空地衣教室（千葉県安房郡鋸南町日本寺）で観察された地衣類 ／ 原田 浩，木下 靖浩，安斉 唯夫，坂田 歩美	423
	お知らせ	424
	役員，評議員，議長，監事，委員会メンバー報告／木下 薫	424

活動報告 Reports of the JSL Activities

第36回青空地衣教室（千葉県日本寺）の報告

Report of the 36th Outdoor School on Lichens at Nihon-ji Temple, Kyonan, Chiba-ken, central Japan (18 June 2011)/ by KINOSHITA Yasuhiro & ANZAI Tadao

>>> 木下 靖浩・安斉 唯夫：地域活性化委員会・関東

千葉県安房郡鋸南町において第36回青空地衣教室が開催されましたので、報告いたします。

* * *

開催日：2011年6月18日（土）

場所：千葉県鋸南町日本寺

講師：原田浩氏（千葉県立中央博物館）

参加者：11名（講師を含む）

* * *

昨年10月に予定されていた奥利根での第35回青空地衣教室が台風のために中止となったため、関東では1年ぶりの観察会となりました。千葉からでもJR在来線で2時間近くを要する場所のためか、参加者は11名と、いつもよりはやや少ない人数での観察会となりました。

集合場所の日本寺西口入口には、JR浜谷谷駅からロープウェイで行くことができますが、あいにく、小学生

の団体と重なってすぐには乗れなかったため、10時より少し遅れての観察を開始しました。

日本寺のある鋸山は鋸南町と富津市との境に位置し、1982年まで石切り場のあった場所です。境内には石切り跡の切り立った崖の上も含まれ、観察会としては上り下りの多い移動となりました。百尺観音の横の切り立った岩（図1）の表面には、本来は海岸生のイソカラタチゴケが認められました。山頂展望台近くでは、樹幹にゴンゲンゴケ、トゲウメノキゴケ、コナヒメウメノキゴケなどの葉状地衣のほかに、スゲガサゴケも認められました。山頂での昼食時にはトビにサンドイッチを襲われるアクシデントがあったりもしました。

山頂展望台から大仏までの参道は日当たりが乏しく、あまり地衣の着生が認められませんでした。源頼朝が武運を祈願して手植えしたと伝えられる頼朝蘇鉄の周

辺では、イワアバタゴケ、アナゴケ、ヘリトリゴケ、クチナワゴケなど、多種の地衣を観察しました。午後からは天候が下り坂となったために、午後2時ごろで観察会

を切り上げざるを得なくなりましたが、無事に観察会を開催することができました。



図1. 百尺観音前で岩壁表面の地衣類を観察。

第36回青空地衣教室 - 鋸山日本寺 - に参加して

My experiences at the 36th Outdoor School on Lichens at Nihon-ji Temple, Kyonan, Chiba-ken, central Japan (18 June 2011)/ by ISHIHARA Takashi.

>>> 石原 峻：筑波大学大学院 生命環境科学研究科 生物資源科学専攻

朝6時につくば駅を出て、鉄道で現地へ向かいました。内房線に乗って南へ向かうと東京から離れるにつれて風景がひなびてきて、遂にはレールが1本になり列車の速度も遅くなってからしばらくすると集合場所の浜金谷駅に着きました。人数は10人前後で普段より少ないとのことでしたが、そのぶん、講師の原田先生に質問できたり、じっくり観察したり写真を撮ったりする余裕がありました。天気予報では雨とな

っていましたが、とりあえず天気は少し曇っているくらいで、無事に観察できそうだと皆さん安堵していらっやいました。

まずはロープウェイで登って、山頂付近の岩場で観察を行いました。通常は海岸の岩場に生育するイソカラチゴケが生えていました。またサルオガセ属が生えていましたが、掃除でもされたのか個体数が以前より減っていたそうです。ピンク色のリトマスゴケ科の

痂状地衣類や, diahyphae と呼ばれる胞子の一種を付けるハイフォオアが笠状のスゲガサゴケ, 一年で落ちてしまう赤い子器を持つトラベリア属の地衣類など, まだ自分が聞いたことがないような地衣類が多くありました。原田先生によると, これらの地衣類はまだ日本における分布や分類があまり研究されておらず, 日本にはこのようなまだ研究されていない地衣類がまだ何百種もあるとのことでした。

山頂付近でトビに襲われたりしながら昼食を取った後は, 山を下りながら観察を行いました。日陰が多くて地衣類はそれほど見つかりませんでした。中腹の千五百羅漢の石像やその周囲には, 地衣類や蘚苔類, 藻類が付着していて, 静謐な雰囲気を感じました。さらに下ると, 石畳に半淡水生地衣類のイワアバタゴケが付いていたり, 樹皮がつるつるして地衣類が普通は付かない百日紅の木に巨大なウメノキゴケが付いていました。また, 一面に痂状地衣類のへ

リフトゴケが付いている石碑があり, まるで渋い模様のようになっていました。あいにく, 途中からにわか雨が降り出したので, 予定よりも早く観察会は解散となりました。

今回参加してみて, 地衣類の属を和名でなく学名でおっしゃる方が多く, 正直自分は分からなかったのて, 分類方面の知識不足を感じました。自分は大学では地衣類の培養方面の研究をしているのですが, もっと野外に出てさまざまな地衣類やその生態を観察しなければならぬと思いました。

鋸山という, 素晴らしい自然に恵まれた史跡での観察会を計画してくださった安斉さん, 木下さん, 詳しい解説をしてくださり, かつ質問にご丁寧にお答えくださった原田先生に御礼申し上げます。

第36回青空地衣教室(千葉県安房郡鋸南町日本寺)で観察された地衣類

Lichens observed during the 36th Outdoor School on Lichens at Nihon-ji Temple, Kyonan, Chiba-ken, central Japan (18 June 2011)/ by Harada H., Kinoshita Y., Anzai T. & Sakata A.

>>> 原田 浩・木下 靖浩・安斉 唯夫・坂田 歩美

観察リスト

場所: 千葉県安房郡鋸南町日本寺

観察日: 2011年6月18日

Arhoniaceae sp. ソバカスゴケ科の一種
Buellia sp. スミイボゴケ属の一種
Cladonia fruticulosa タイワンレンゲゴケ
Cladonia humilis ヒメジョウゴゴケ
Cladonia ramulosa ヒメレンゲゴケ
Coenogonium luteum ダイダイサラゴケ
Cresponea macrocarpoides ニセカシゴケ
Cresponea proximata カシゴケ
Dibaeis soreliata コナセンニンゴケ
Dirinaria appianata コフキチリナリア
Enterographa sp. クチナワゴケ属の一種
Graphis sp. モシゴケ属の一種
Gyalideopsis japonica スゲガサゴケ
Herpothallon japonicum ゴフンゴケ
Hypotrachyna osseoalba ゴンゲンゴケ

Ionaspis lacustris イワアバタゴケ
Lecanora sp. チャシブゴケ属の一種
Leiorreuma exaltatum ヘリトリモシゴケ
Lepraria cupressicola レブラゴケ
Lepraria spp. レブラゴケ属
Myelochroa leucotylica ヒカゲウチキウメノキゴケ
Parmelinopsis minarum トゲウメノキゴケ
Parmelinopsis spumosa コナヒメウメノキゴケ
Parmotrema tinctorum ウメノキゴケ
Pertusaria flavicans モエギトリハダゴケ
Phaeophyscia endococcinodes アカハラムカデゴケ
Porina sp. マルゴケ属の一種
Porpidia albocaerulescens var. *albocaerulescens*
ヘリトリゴケ
Ramalina litoralis イソカラタチゴケ
Rimelia clavulifera マツゲゴケ
Rimelia reticulata オオマツゲゴケ
Rinodina sp. ビスケットゴケ属の一種

Roccellina niponica ヘリフトゴケ
Stereocaulon japonicum ヤマトキゴケ
Thelotrema inallescens アナゴケ
Thelotrema sp. フジゴケ属
Trapelia coarctata バラゴケ

Usnea rubrotincta? アカサルオガセ?
Verrucaria praetermissa アオシロアナイボゴケ(本種についてはLichenology 10(1): 33-41に詳しい)

お知らせ News and Announcements

地衣学会役員, 評議員, 議長, 監事, 委員会メンバー報告

New members of the JSL officers, councilors and commissions/ by KINOSHITA Kaoru

>>> 木下 薫: 前庶務幹事

地衣学会の役員は、高橋邦夫会長により下記の通り任命されました。(敬称略)

庶務幹事: 河原 秀久

会計幹事: 木下 靖浩

編集委員長: 原田 浩

また、先の評議員選挙で選出された評議員5名(原光二郎, 小峰 正史, 木下 薫, 高橋 奏恵, 川又 明徳, 敬称略)に加え、評議員の専門および地域を考慮して、会長と上記5名の新評議委員により坂東 誠氏も評議員に加わっていただくことが審議され、承認されました。従いまして、平成24、25年度地衣学会評議員は6名となりました。

以下、評議員会議長、監事、委員会メンバーを報告します。(敬称略)

評議員議長: 原 光二郎

監事: 小峰 正史, 高橋 奏恵

編集委員会: 原田 浩(委員長), 木下 靖浩・高橋 奏恵・棚橋 孝雄・松本 達雄・Theodor L. Esslinger・Jae-Seoun Hur

ニュースレター編集委員: 原田 浩(委員長), 木下 薫

ホームページ運営委員会: 原 光二郎(委員長)

地域活性化委員会: 川又 明徳(委員長); <北海道・東北地域>小林 寿宣・原 光二郎; <信越地域> 小山内 行雄・滝沢 寿一; <関東・中部地域> 安齊 唯夫・今井 正巳・木下 靖浩; <近畿地域>高萩 敏和・坂東 誠; <中国・四国地域>岡本 達哉・川又 明徳・高橋 奏恵; <九州地域> 中嶋 裕之

国際学会対応委員会: 山本 好和(委員長)

学術情報交流委員会: 原田 浩(委員長), 山本 好和

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No.102, p.378 of this publication.

●Newsletter from the Japanese Society for Lichenology, no. 114, pp. 421-424: eds. Harada H. & Kinoshita K., published by the Japanese Society for Lichenology, 19 Mar. 2012.

日本地衣学会ニュースレター 114号

発行日: 2012年 3月 19日

編集: 原田 浩・木下 薫

発行者・発行所: 日本地衣学会

〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1

明治薬科大学・生薬学教室内

©2012 日本地衣学会 (© 2012 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。